

# 第4期栃木県食育推進計画「とちぎ食育元気プラン2025」令和4(2022)年度の実績等について(概要)

令和5(2023)年7月11日  
保健福祉部健康増進課、農政部農政課、教育委員会事務局健康体育課

## 1 令和4(2022)年度の実績

### 基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

| 指標                              | 基準値                   | 実績値                   | 目標値                 |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 農業体験を複数回したことがある県民の割合            | 67.9%<br>令和2(2020)年度  | 61.9%<br>令和4(2022)年度  | 90%<br>令和7(2025)年度  |
| 学校給食における地場産物活用割合を基準値より向上した市町の割合 | 令和3年度調査の各市町の数値を基準値とする | 60.0%※<br>令和4(2022)年度 | 100%<br>令和7(2025)年度 |

※令和3(2021)年度の各市町の割合から令和4(2022)年度に向上した市町の割合=15/25=60

### 【主な取組実績】

- ・ 農村体験の提供事業者による体験メニューやツアーづくり等への支援や「見る、食べる、体験する」情報の発信  
(支援事業者59者、専用WEB「とちぎの農村めぐり」による情報発信)
- ・ 学校給食における県産農産物の活用拡大に向けた支援  
(地産地消給食への助成 10市町等)
- ・ 農産物直売所での販売や各種SNS等を通じた食と農の魅力発信  
(都市農村交流施設 217施設、いちごアンバサダーによる情報発信 868回) など

### 基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

| 指標  | 基準値                                    | 実績値                                    | 目標値                    |
|---|--|--|------------------------|
| ヘルシーメニューの提供に取り組む飲食店の登録数   | 362店舗<br>令和元(2019)年度                   | 364店舗<br>令和4(2022)年度                   | 550店舗以上<br>令和4(2022)年度 |
| 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合                                    | 49.5%<br>平成28(2016)年度                  | ※<br>令和4(2022)年度                       | 80%以上<br>令和4(2022)年度   |
| ・朝食を「あまり食べていない」「全く食べていない」児童生徒の割合<br>(小6中3)<br>・朝食を「全く食べない」生徒の割合<br>(高3) | 小3.7%<br>中5.4%<br>高5.3%<br>令和元(2019)年度 | 小4.9%<br>中6.7%<br>高7.4%<br>令和4(2022)年度 | 0%を目指す<br>令和7(2025)年度  |

※調査周期は概ね4年に1回、令和4(2022)年度に実施した調査は集計中

### 【主な取組実績】

- ・ 外食栄養成分表示に関する県民や飲食店等への周知  
(講習会等による啓発18回、飲食店等への登録制度周知事業30回)
- ・ 「食べて健康!プロジェクト」やボランティア団体と連携した地域の食育推進を実施  
(プロジェクト参加企業424団体、食生活改善推進員と連携したワーキング・研修等402回)
- ・ 食への理解や正しい食生活等の指導に向けた栄養教諭等対象の研修会の開催や学校への専門家の派遣  
(栄養教諭等研修会 受講208名、管理栄養士等の派遣 8校) など

### 基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

| 指標                 | 基準値                | 実績値                            | 目標値                                     |
|--------------------|--------------------|--------------------------------|---|
| 食の安全に関する情報発信(年間回数) | —                  | 82回<br>(延べ174回)<br>令和4(2022)年度 | 延べ250回以上<br>令和3(2021)年度~<br>令和7(2025)年度 |
| とちぎ食育応援団活動数        | 64回<br>令和元(2019)年度 | 64回<br>(延べ88回)<br>令和4(2022)年度  | 延べ300回以上<br>令和3(2021)年度~<br>令和7(2025)年度 |
| 食育推進計画を策定している市町の割合 | 96%<br>令和2(2020)年度 | 88%<br>令和4(2022)年度             | 100%<br>令和7(2025)年度                     |

### 【主な取組実績】

- ・ 食の安全に関する情報発信や学習機会の向上  
(SNS「とちまる食の安全通信」82回、小中学生対象の学習機会28回)
- ・ 保育士や栄養教諭等を対象とした食育に関わる人材育成に向けた研修  
(保育士等研修 修了者480人、栄養教諭等:対象208人)
- ・ とちぎ食育推進月間や県域行事を通じた食育の普及啓発  
(食育応援団員450人、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会でのクイズやゲーム企画への参加者 1,100人) など

## 2 令和5(2023)年度の主な取組

### 基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

#### (1) 食を楽しむ機会の確保

- ・「家庭の日」絵日記コンテスト等による「家庭の日」の定着に向けた啓発や「家族の食育の日」における共食等の環境づくり推進
- ・食育キャプテンを活用した地域ならではののおにぎりレシピ開発やスポーツ選手が参加する親子向け食育講座の開催【新規】

#### (2) 食に感謝する心の醸成

- ・グリーン・ツーリズム等の食と農に触れ合う機会を通じた県産農産物やそれに関わる人々への県民理解促進
- ・フードバンク活動の実施や「とちぎ食べきり15(いちご)運動」の重点期間の設定等、食品ロス削減に向けた県民運動の一層の推進

#### (3) 地域の食材や食文化への理解促進

- ・学校給食における地元農産物の導入支援や郷土料理メニュー等に関する情報発信により、食を通じた農業への理解を促進
- ・有機農産物のマーケティングや購買意向調査のほか、エシカル消費の理解促進に向けたセミナー等を開催【新規】

### 基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

#### (1) 正しい食生活に向けた環境整備

- ・飲食店や食品関連企業等と連携した栄養成分表示の活用促進やとちぎのヘルシーグルメ推進店の登録拡大
- ・栄養や食品表示に関する正しい理解の促進と事業に関わる地域の人材育成・支援

#### (2) 栄養バランスのとれた食生活の推進

- ・食生活改善推進員や「食べて健康！プロジェクト」参加団体企業等と連携した健康な食事や生活習慣病予防に係る普及啓発
- ・子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた適切な食生活(減塩、野菜摂取等)の普及啓発

#### (3) 規則正しい食生活の推進

- ・地域や職場などにおける健康相談や、栄養教諭や学校栄養職員による学校内での食生活の個別指導の推進
- ・学校や保育所、幼稚園等と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進

### 基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

#### (1) 食の安全性に関する信頼の確保

- ・地域、学校等での食品の安全性に関する知識習得への支援を通し、消費者の食に対する信頼性を確保
- ・食の安全に関する情報発信や安全・安心に関する消費者とのリスクコミュニケーションを通じて、消費者の食の安全に関する知識習得を支援

#### (2) 食育に関わる人材の確保と活動促進

- ・保育士や食生活改善推進員、さらには栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に向けた研修会の開催
- ・とちぎ食育応援団の派遣により、保育園や企業を対象とした食と農への理解促進に向けた講座の実施

#### (3) 食に関わる関係者の連携強化

- ・とちぎ食育月間を通じた啓発における市町との連携や、「未来に伝えたい“とちぎの食と農”」の共通テーマによる関係団体が一丸となった食育の推進
- ・市町向け研修会の開催等を通じた施策動向や先進事例の共有により、新たな推進計画策定を支援